



出典：1985 年村勢要覧 答えは 13 ページに

議会だより

第50号

もくじ

6 月定例会……………	12	一般質問……………	14
条例などの審議結果…	12	編集後記……………	18
各会計補正予算……………	13		

令和8年第2回定例会が6月11日(木)に開催され、報告4件、専決処分事項の承認3件、人事7件、工事請負契約1件、工事請負変更契約3件、その他2件、令和8年度各会計補正予算2件などが提案され、慎重に審議した結果、それぞれ原案どおり決定した。

○条例などの審議結果（補正予算を除く）

議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
報告第1号	令和7年度水上村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	年度内に支出が終わらなかった14事業を翌年度に繰越し	報 告
報告第2号	令和7年度水上村一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	年度内に支出が終わらなかった1事業を翌年度に繰越し	報 告
報告第3号	令和7年度水上村簡易水道事業会計繰越明許費繰越計算書の報告について	年度内に支出が終わらなかった1事業を翌年度に繰越し	報 告
報告第4号	令和7年度水上村下水道事業会計繰越明許費繰越計算書の報告について	年度内に支出が終わらなかった1事業を翌年度に繰越し	報 告
議案第1号	専決処分事項の承認を求めることについて(水上村税条例の一部を改正する条例)	専決処分していた地方税法等の改正に伴う条例の一部改正について承認を求めるもの	承認 (全員賛成)
議案第2号	専決処分事項の承認を求めることについて(水上村国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	専決処分していた地方税法等の改正に伴う条例の一部改正について承認を求めるもの	承認 (全員賛成)
議案第3号	専決処分事項の承認を求めることについて(令和7年度水上村一般会計補正予算(第11号))	専決処分していた令和7年度水上村一般会計の補正予算について承認を求めるもの	承認 (全員賛成)
議案第4号	水上村農業委員会委員の選任同意について	岩野高瀬地区 うちだしんじ 内田真治氏を選任	同意 (全員賛成)
議案第5号	水上村農業委員会委員の選任同意について	岩野高瀬地区 なすりはち 那須利八氏を選任	同意 (全員賛成)
議案第6号	水上村農業委員会委員の選任同意について	岩野宮田地区 にしちとみほ 西本美帆氏を選任	同意 (全員賛成)
議案第7号	水上村農業委員会委員の選任同意について	岩野川内地区 しいばまき 椎葉万紀氏を選任	同意 (全員賛成)
議案第8号	水上村農業委員会委員の選任同意について	湯山馬場地区 やまもとひろき 山本広樹氏を選任	同意 (全員賛成)
議案第9号	水上村農業委員会委員の選任同意について	湯山北目地区 まつたかずひろ 松田一洋氏を選任	同意 (全員賛成)
議案第10号	水上村農業委員会委員の選任同意について	湯山本野地区 おまえしげのり 尾前重徳氏を選任	同意 (全員賛成)
議案第11号	水上村スポーツサイエンス施設の指定管理者の指定について	株式会社アスリートキャリアセンターを指定管理者へ指定	可 決 (全員賛成)
議案第12号	工事請負変更契約の締結について(水上村陸上競技場用地造成工事2工区)	水上村陸上競技場用地造成工事(2工区)に係る請負変更契約を締結	可 決 (全員賛成)
議案第13号	工事請負変更契約の締結について(水上村陸上競技場用地造成工事3工区)	水上村陸上競技場用地造成工事(3工区)に係る請負変更契約を締結	可 決 (全員賛成)
議案第14号	工事請負変更契約の締結について(新無反野橋橋梁上部工工事)	新無反野橋橋梁上部工工事に係る請負変更契約を締結	可 決 (全員賛成)
議案第15号	工事請負契約の締結について(水上村陸上競技場建築工事)	水上村陸上競技場建築工事に係る請負契約を締結	可 決 (全員賛成)
議案第16号	水上村辺地総合整備計画の変更について	水上村辺地総合整備計画の変更	可 決 (全員賛成)
	議員派遣の件について		可 決 (全員賛成)
	継続審査申出書について		可 決 (全員賛成)

各会計補正予算

令和7年度水上村

一般会計補正予算(第11号)

※専決処分(令和8年3月31日付け)

水上村経済回復活性化事業費(みずかみ生活応援券)の繰越明許費の額を4,601万円から**3,357万4千円**に変更するもの。

令和8年度水上村

一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に2,130万円を追加し、総額を**60億7,530万円**とするもの。江代地区光ケーブル張替工事500万円、台湾友好都市事業450万円、水上村陸上競技場整備工事積算業務委託料1,000万円、くま川鉄道全線開通奥球磨地域活性化協議会負担金91万9千円などの事業が追加計上された。

令和8年度水上村

介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に66万3千円を追加し、総額を**4億5,016万3千円**とするもの。介護保険システム制度改正対応業務委託料66万3千円が追加計上された。

いずれも審議の結果、原案のとおり決定した。



答え：「もとゆの森」

もとゆの森は、平成17年に完成し、園内には湯山温泉の源泉をひいた足湯やさまざまな樹木、草花が植栽されており、自然を満喫できる癒しとくつろぎの空間となっています。

表紙の写真は、中央公民館、図書室、レストラン、浴場、研修室やバレーコート、テニスコート、児童遊園地などを備えた複合施設として昭和48年に完成した市房総合センターで、大広間では結婚式も行われていました。



村の現状！今後の見通しは！！

一般質問

Q. 災害時の食料確保に向けた本村の取り組みは

A. 3日分程度の食料備蓄と国からのプッシュ型支援体制を構築している
(総務課長)



杉野 久志 議員

問 現在の避難所等における備蓄食料の状況およびアレルギー対応食品の準備は。

答 岩野・湯山地区においては100人の3日分、江代地区においては50人の3日分、役場には災害対応にあたる職員分と避難所で不足した場合の対応として100人の3日分を備蓄している。また、アレルギー対応食品としてアルファ米・米粉を使った麺類・ゼリー等を準備している。更に国からのプッシュ型支援物資が2、3日後に届くシステムが構築されている。

問 災害発生を考え、近年各家庭において非常用食料を備え、賞味期限切れを防ぎながら備蓄品の入れ替えを行うローリングストックが推奨されている。村民への家庭備蓄の推進をどう考えているのか。

答 梅雨入りにあわせ家庭備蓄についてはホームページに掲載している。あわせて、日常備蓄品のチェックリストも掲載している。今後とも広報やホームページ、サイン塔を通じて周知を図っていく。

なお、本村の備蓄食料についても消費期限に伴う更新に合わせて、村民や学園児童・生徒へ配布しており、

試食と併せてローリングストックの取り組みを実施している。

問 農家や地元商店からの食料品等の提供に関する協力体制の構築は。

答 現在、農家や地元商店との協定等は結んでいないが、「防災会議」において、食料の確保と供給について協議を行っている。なお、不測の事態に備えて農家や地元商店との協力体制について検討していく。引き続き、村長が目指す基本理念である安全安心の村づくりに努めていく。



備蓄の状況



ローリングストックのイメージ

Q. 人口減少・高齢化に対する 本村の安全確保の方向性は

A. 地域協働の仕組みを強化し 個人宅防犯カメラ補助を 検討する



問 全国で事件や事故が相次ぎ、SNSを通じた強盗や特殊詐欺など手口が巧妙化する中、本村も人口減少・高齢化、集落の分散、夜間の暗さといった特性から「何かが起きても気づかれにくい」弱点を抱えている。行政として本村の防犯環境をどのように認識しているのか、その根拠となる数字を

①人口構造 ②空き家 ③犯罪・トラブル ④防犯設備 ⑤見守り活動の5点について伺う。

答 総務課長

①高齢化率は47・1%と極めて高く、独居高齢者は98世帯と1割強を占める。さらに、昼間人口の約2割が村外へ出るため、見守りが届きにくい状況にある。
②空き家は120件。全世帯の約1割強を占め、人の目が届きにくく防犯面で弱点となりやすい。
③直近の犯罪は1件で、特殊詐欺や子どもへの声かけ事案は0件。
④防犯灯554基、防犯カメラ等9台を設置。
⑤こども110番の家31か所、民生児童委員11名、少年補導員2名に加え、人づくり推進協議会や総合教育会議などが連携し、

見守り活動を行っている。

犯罪件数は少ないものの、こうした状況を踏まえると、今後ソフト・ハード両面で防犯環境を強化していくことが重要と認識している。



問 人口減少や空き家の増加、見守り体制の弱まりから防犯上の脆弱性が懸念され、夜道の不安や訪問販売トラブルなど数字に表れにくい不安も住民から寄せられている。また、住民への聴き取りでは、防犯意識の高さや個人宅防犯カメラ補助制度への強い期待が確認され、映像提供にも協力的な声が多く寄せられた。特殊詐欺の高度化や見守り力の低下が進む中、個人宅防犯カメラ補助制度を本村でも検討すべきと考えるが、見解を伺う。

答 総務課長

防犯活動には一定の限界があるが、自助・共助・公助が連携することで、防犯力を高められる。防

犯カメラ映像は、犯罪抑止や事案解明に有効であり、自助の観点からも、補助制度の導入を前向きに検討したい。

答 中嶽村長

人口減少や空き家の増加、家屋の点在化により人づき合いが希薄化し、地域の見守り力が弱まっていることを課題と考える。こうした状況の中でも地域で支え合う共助の力を高めることが重要であり、その具体策として老人クラブへの新たな補助制度を創設し、コミュニティ増進に取り組んでいる。

防犯カメラについては公平負担の観点から個人宅への補助が最も公平と考えており、数か月以内に仕様や運用方法を検討し、財政に無理のない制度構築に前向きに取り組む。



Q. 今後の岩野地区簡易水道 水源確保の取り組みは

A. 表流水の濁度処理と 村有地下水源の併用を 総合的に検討（建設課長）



杉野 貴文 議員

問 岩野地区簡易水道創設時の計画給水人口と計画給水量に対し、現在の給水人口と給水量は。

答 昭和59年創設時の計画給水人口1,300人と計画給水量1日あたり368m³に対し、令和8年3月末の給水人口は914人、給水量は376m³となっている。給水人口の減少に反し、1人あたりの使用水量は、計画時から128ℓ増加しており、公共下水道への接続率の上昇によるものである。

問 現在、楊貴妃橋上流部の第一水源及び天の川橋上流部の第二水源の表流水により給水されているが、渇水期に不足する給水量はどれくらいなのか。

答 4t給水車で1日10往復し補水することにより、配水池の水位は保たれたため、約40m³が不足していたものと推測される。

問 これまで行ったボーリング箇所の選定に至った経緯と確保できた水量及び水質の結果は。

答 岩野浄水場への送水コスト、地理的条件を総合的に判断し、電気探査を行ったうえで令和4年に幸野地区、令和5年に幸野原地区をボーリングしている。確保できた水量は、幸野地区で1日あたり86m³、幸野原地区で76m³、水質は通常の滅菌処理のみで飲用可能という結果であった。

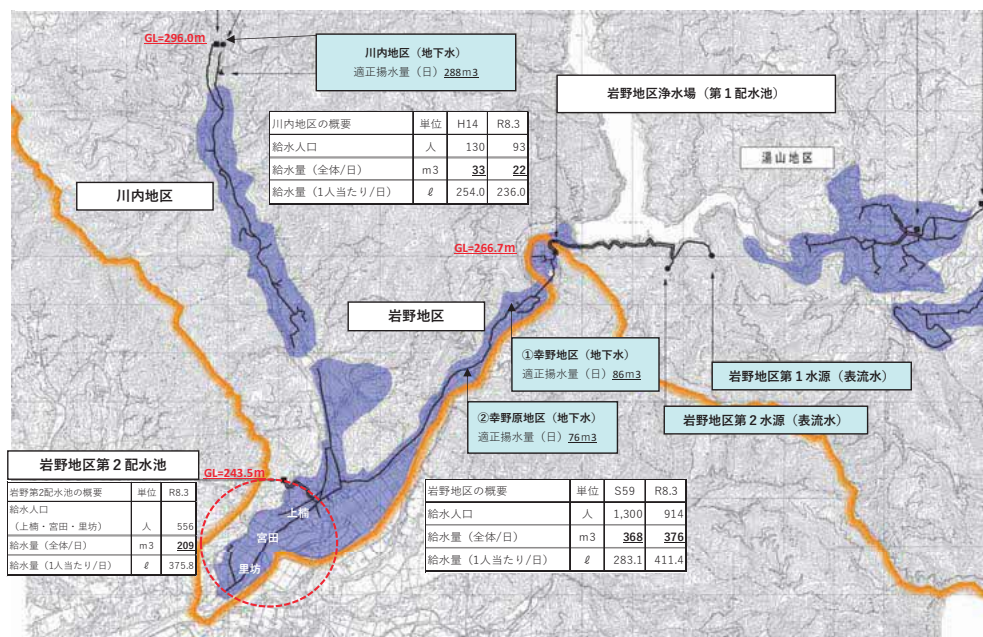
問 天候に左右されることがなく、安定した安全で良質な飲用水の供給方法として、今日まで供用されている川内地区簡易水道の余剰水を「ほいほい広場」に隣接する第二配水池に圧送し、上楠、宮田、里坊エリアに給水できれば、補助的な水不足解消対策になると考えられるが見解を伺う。

答 川内地区簡易水道の1日あたり288m³で、現在の使用水量は22m³であるため、266m³の地下水に余裕がある状況。第二配水池からの給水エリアは、209m³の使用水量であるため、水不足の際は補助的な水源として活用できる水量を有している。

問 表流水に代わる新たな地下水源を確保するのか。あるいは現在供用されている地下水源との併用を図るのか。岩野地区簡易水道の整備事業を進めていくうえで、今後の水源確保に向けた取り組みや展望について伺う。

答 新たな地下水源の掘削は、十分

な水量や飲用水に適合する水質の確保におけるリスクや財政面の大きな負担が伴う。そのため、現在の表流水である第一水源と第二水源の濁度処理と、村有する幸野・幸野原地区または、川内地区の地下水の併用について総合的な検討を行い、安全・安心な水源の確保に努めたい。



人口減少時代に挑む地域戦略！

外国人材と女性活躍で創る町村の未来

5月26日(火)、全国町村議会議長会主催による、「全国町村議会議長・副議長研修会」が東京国際フォーラムにて開催され、議長・副議長で参加した。

講演では、地方創生の「これまで」と「これから」、不足する労働力の確保に向けた外国人材の活用、議員のなり手不足における男女共同参画など、その内容は社会構造の変革期を迎えている昨今において、地域課題の解決に必要な知識を身につけ、思考を磨くことのできる有意義な研修となった。



国際フォーラムでの研修の様子

◆地方創生の先行きー地域未来戦略とともにー

講師：一般財団法人地域活性化センター理事長 はやしざき おさむ 林崎 理 氏

◆人口減少社会における外国人材の確保・育成の実践

講師：東海大学教養学部人間環境学科教授 まんじょうめ まさお 万城目 正雄 氏

◆男女共同参画で地域を元気に～人口減少社会を生き抜く方策～

講師：京都女子大学学長 たけやす ひでこ 竹安 栄子 氏

熊本県選出国會議員へ要望活動

県議長会から 2 件、各郡から 18 件の要望書を提出

5月28日(水)、熊本県町村議会議長会の主催により熊本県選出の国会議員の方々をホテルグランドアーク半蔵門にお迎えし、要望・意見交換を行った。

球磨郡からは「球磨地域公共交通網の整備促進」、「球磨川における抜本的な治水対策の促進」、「雇用対策」、「豪雨災害等から国土を守る治山事業及び森林整備の強化」の4つの要望を行った。いずれも生活に直結する課題であり、早期実現が望まれている。



スポーツサイエンス施設整備の進捗を視察

旧湯山小が健康拠点へ生まれ変わります！

水上村議会は、6月11日(木)に旧湯山小学校跡地を活用したスポーツサイエンス施設について、進捗状況の確認を目的に現地視察を行い、担当職員から説明を受けながら事業の状況を確認しました。

本事業は、「トップアスリートから高齢の方まで」をキーワードに、村民の健康寿命の延伸や地方創生の推進、さらに合宿誘致による地域経済の活性化を担う重要なプロジェクトです。

今回の視察では、旧湯山小学校が「スポーツサイエンス」「食育」「睡眠」といった、現代の健康ニーズを幅広く支える施設へと生まれ変わりつつある様子を確認しました。こうした先進的な取り組みが、村民の皆さまの健康づくりや地域経済の活性化につながるよう、議会としても今後の運営体制や事業の進み具合を丁寧に見守ってまいります。



アスリート向けの計測機器



一般向けの計測機器

編集後記

山崎 隆浩

サッカーワールドカップ本戦のブラジル戦は、1対2の僅差で敗退となり悔しさが残る結果となりました。それでも、世界の強豪を相手に一歩も引かず立ち向かう姿は、私たちに大きな勇気と感動を届けてくれました。一つの目標に向かって心を一つにする力強さは、本村がこれから進める「合宿の郷づくり」や「スポーツサイエンス事業」にも深く通じるものです。

住民の皆様、そして議会が地域への思い一つにし、ともに未来へ歩んでいけるよう、皆様の声に耳を傾け、課題の解決に向けて取り組んでまいります。

この議会だよりがお手元に届くころには、梅雨も明け夏本番を迎えていることと思います。今年の夏は全国的に平年を上回る厳しい暑さが予想されていることから、熱中症対策を万全にしてこの夏を乗り切っていきましょう。

広報特別委員会

委員長 荒嶽 晋
副委員長 山崎隆浩
委員 小川 恵
委員 杉野貴文

